

理科

1 学習の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

◆具体的に・・・

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

2 評価の方法

理科の評価は、生徒一人ひとりの様々な学習状況を把握し、よさや可能性を引き出すために、以下の3つの観点から総合的に評価します。

評価項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
達成目標	<ul style="list-style-type: none">・事実的な知識の習得・知識の概念的な理解・知識や技能を用いる場面の設定など	<ul style="list-style-type: none">・論述やレポートの作成や発表、話し合い。・問題、課題解決の場面の設定など。・生徒の表現活動など	<ul style="list-style-type: none">・ノートやレポート等における記述、授業中の発言、教師による行動観察、生徒による自己評価や相互評価等の状況把握など
着目点	<ul style="list-style-type: none">○定期テスト○小テスト○式やグラフで表す技能・実験技能・レポート等○知識・技能を問う問題での達成状況	<ul style="list-style-type: none">○定期テスト○理解度チェック○グループでの話し合い、発表等	<ul style="list-style-type: none">○授業意欲(ノートやレポート等の記述)・授業中の発言・粘り強さ・やりぬく力○目標・計画・結果の振り返りと改善点の考察○提出物等

- (1) 3つの観点で評価(A・B・C)をつけます。(規)基準は授業で説明します。
- (2) 評定(5・4・3・2・1)は、評価の結果により決まります。(例: 3つの観点すべて「A」ならば「5」、すべて「B」ならば「3」等)ただし、学習する内容や時期等によって、評価の比重が異なる(観点や内容の比重が異なる)ため、例と異なる場合があります。
- (3) 主な評価対象は代表的な例です。授業でその都度説明します。

3 学習内容

※計画や内容の変更の可能性があります。

学年	1学期	2学期	3学期
1年生	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な生物の観察 ○植物の分類 ○動物の分類 ○物質の分類 	<ul style="list-style-type: none"> ○粒子のモデルと物質の性質 ○粒子のモデルと状態変化 ○光の性質 	<ul style="list-style-type: none"> ○音の性質 ○力のはたらき ○火山 ○地層 ○地震
2年生	<ul style="list-style-type: none"> ○物質のなりたちと化学変化 ○化学変化と物質の質量 ○化学変化の利用 ○生物のからだと細胞 ○植物のつくりとはたらき 	<ul style="list-style-type: none"> ○動物のつくりとはたらき ○電流と電圧 ○電流と磁界 ○電流の正体 	<ul style="list-style-type: none"> ○大気の性質と雲のでき方 ○天気の変化 ○日本の天気
3年生	<ul style="list-style-type: none"> ○力のつり合い ○力と運動 ○仕事とエネルギー ○生物の成長・生殖 	<ul style="list-style-type: none"> ○遺伝と進化 ○生態系 ○水溶液とイオン ○酸・アルカリとイオン ○電池とイオン 	<ul style="list-style-type: none"> ○太陽系と宇宙の広がり ○太陽や星の見かけの動き ○天体の満ち欠け ○持続可能な開発